

1. 図書館のあゆみ

- | | |
|-------------------|--|
| 明治44 (1911) 年 7 月 | ・ 東郷慎十郎氏等の寄付を基に、町立図書館として、鎌倉小学校（現在の第一小学校）内に設立 |
| 大正12 (1923) 年 9 月 | ・ 関東大震災で倒壊のため閉館、のちに第一小学校の教室で再開 |
| 昭和11 (1936) 年 5 月 | ・ 間島弟彦夫人愛子氏からの建設費寄付により、大町蔵屋敷の御用邸跡（現在の御成小学校）に新館設立（10月開館） |
| 19 (1944) 年 3 月 | ・ 軍に接收され閉館 |
| 21 (1946) 年 6 月 | ・ 図書館再開 |
| 25 (1950) 年 7 月 | ・ 図書館法施行にあたり、「鎌倉図書館」を「鎌倉市図書館」に改称 |
| 37 (1962) 年 6 月 | ・ 団体貸出開始 |
| 45 (1970) 年 6 月 | ・ 腰越貸出所開設 |
| 46 (1971) 年10月 | ・ 資料の複写サービス開始 |
| 12月 | ・ 大船子ども文庫開始 |
| 48 (1973) 年 4 月 | ・ 深沢子ども文庫開始 |
| 49 (1974) 年10月 | ・ 中央図書館開館（10月 1 日） |
| 12月 | ・ 中央図書館に視聴覚ライブラリー開設、16ミリ映写機類の貸出開始 |
| 50 (1975) 年11月 | ・ 大船貸出所開設 |
| 52 (1977) 年10月 | ・ 中央図書館で「おはなし会」開始、52年から全館で定期的を実施 |
| 55 (1980) 年 5 月 | ・ 視覚障がい者への録音図書郵送貸出サービス開始 |
| 57 (1982) 年10月 | ・ 深沢図書館開館（深沢行政センター内）、深沢子ども文庫廃止 |
| 61 (1986) 年 8 月 | ・ 大船図書館開館（大船行政センター内）、大船貸出所、大船子ども文庫廃止 |
| 62 (1987) 年 4 月 | ・ 中央図書館でCD貸出開始 |
| 平成 2 (1990) 年 4 月 | ・ 玉縄図書館開館（玉縄行政センター内） |
| 3 (1991) 年 4 月 | ・ 中央図書館でビデオ貸出開始 |
| 6月 | ・ 中央図書館に外国語図書コーナー開設 |
| 4 (1992) 年 4 月 | ・ 祝日開館試行 |
| 7 (1995) 年 7 月 | ・ 祝日開館本実施 |
| 8 (1996) 年10月 | ・ 市内全館コンピューターオンラインシステム導入 |
| 9 (1997) 年 8 月 | ・ 夜間開館試行（平日の木・金曜日、17：00～19：00） |
| 11月 | ・ 大船図書館にAV（視聴覚）資料配置 |
| 10 (1998) 年 2 月 | ・ 第1回「リサイクル図書展」開催（平成11年度から「図書リサイクル」に名称変更、平成18年度まで毎年1回開催） |
| 10月 | ・ 投書箱「利用者の声」設置 |
| 11 (1999) 年 3 月 | ・ 藤沢市図書館との広域利用実施 |
| 4月 | ・ 市のホームページに図書館のページを開設 |
| 7月 | ・ 腰越図書館開館（腰越行政センター内）、AV資料配置 |
| | ・ 夜間開館開始（平日の木・金曜日、17：00～19：00） |
| | ・ 「おひざにだっこのおはなしかい」各館で開催、以後定期的を実施 |
| | ・ 図書館所蔵資料のインターネット検索サービス開始 |

- 12 (2000) 年 3月 ・ 「鎌倉市図書館サービス計画」策定
- 8月 ・ 玉縄図書館にAV資料配置
- 13 (2001) 年 4月 ・ 定期休館日を月1回（毎月最終月曜のみ）とする：開館日の拡大
- 7月 ・ 「としょかんいんになってみよう！（一日図書館員）」初開催
- 8月 ・ 国立国会図書館総合目録ネットワークへの参加承認される
- 9月 ・ 深沢図書館にAV資料配置
- 9月 ・ 「鎌倉市図書館資料管理方針」が図書館協議会の討議を経て策定
- 11月 ・ 第一期「おはなしボランティア養成講座」開催
- 12月 ・ 市内各図書館にCD-ROM検索用パソコン導入
- 14 (2002) 年 5月 ・ JR鎌倉駅構内に返却ポストを設置
- 10月 ・ 中央図書館に検索用インターネットコーナーを設置
- 15 (2003) 年 4月 ・ 各地域館に外国図書配置
- 7月 ・ 「図書館子ども会議」（子ども利用者懇談会）開催
- 10月 ・ 鎌倉女子大学との協力開始
- 16 (2004) 年 3月 ・ コンピューターシステム更新、携帯電話からの蔵書検索サービス開始、館内の検索用端末（OPAC）からの予約受付開始等
- 4月 ・ インターネットでの予約受付開始
- 10月 ・ マンガの貸出開始
- 10月 ・ DVD貸出開始
- 10月 ・ 「鎌倉市図書館資料管理基準」が図書館協議会の討議を経て策定
- 17 (2005) 年 4月 ・ 子ども向け行事でのボランティアとの協働開始
- 7月 ・ ブックスタート開始
- 12月 ・ 「図書宅配便」「障がいのある方への無料郵送サービス」開始
- 18 (2006) 年10月 ・ 地域図書館に検索用インターネットコーナーを設置
（腰越図書館のみ11月設置）
- 19 (2007) 年 1月 ・ 中央図書館に「からだといのちの図書コーナー」を設置
- 4月 ・ JR大船駅に返却ポスト設置
- 10月 ・ オンラインデータベースの導入
- 10月 ・ デイジーの郵送貸出開始
- 20 (2008) 年 2月 ・ 中央図書館に「よむべえ」導入
- 3月 ・ 「鎌倉市子ども読書活動推進計画」策定
- 3月 ・ 中央図書館に多目的エレベーターの設置
- 4月 ・ 図書リサイクルコーナーを全館に設置
- 9月 ・ 図書館協議会市民委員の公募開始
- 10月 ・ 市民協働事業としてファンタスティック☆ライブラリー2008を開催
- 21 (2009) 年 9月 ・ 図書の貸出点数を10冊に拡大
- 10月 ・ コンピューターシステム更新
- 11月 ・ 「あかちゃんと楽しむおはなしかい」初開催
- 22 (2010) 年 7月 ・ 市内小・中学校教職員対象図書館実務研修開始
- 11月 ・ デイジー再生機器「プレクストーク」貸出サービス開始

- 12月 ・ 高校生によるポップ大賞を選ぶイベントを開催
- 23 (2011) 年 3月 ・ 電子図書館の実証実験実施 (23年3月まで)
- 7月 ・ 東日本大震災：協働事業2件中止、夜間開館の一時中止
- 9月 ・ 鎌倉市図書館開館100周年記念式典開催
- 10月 ・ ツイッター開始
- 10月 ・ 図書館振興基金条例交付、基金の募金活動開始
- 24 (2012) 年 3月 ・ 百年史資料、所蔵貴重資料整理事業
- 4月 ・ 寄贈された政党新聞の閲覧開始
- 10月 ・ 「ぬいぐるみのおとまり会」初開催
- 12月 ・ 広告募集開始
- 25 (2013) 年 1月 ・ 図書館福袋の貸し出し始まる
- 2月 ・ 「第2次鎌倉市子ども読書活動推進計画」策定
- 5月 ・ 暮らしのお役立ち講座@としょかん初開催
- 6月 ・ 本の修理講座開始 (中央図書館)
- 10月 ・ 大船図書館、耐震工事实施による部分開館 (翌年2月まで)
- 26 (2014) 年 3月 ・ 国際ソロプチミスト鎌倉から読書活動推進のための軽自動車の寄付を受ける
- 4月 ・ 「第2次鎌倉市図書館サービス計画」策定
- 7月 ・ 国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスを提供
- 12月 ・ 鎌倉国宝館連携講座開始
- 27 (2015年) 3月 ・ 図書館新システム稼動 (WEBリクエスト、デジタル化資料の公開等)
- ・ マンガの予約受付開始
- ・ 鎌倉市川喜多映画記念館連携講座初開催
- ・ 「サイエンスカフェ」初開催
- ・ 団体貸出を廃止
- ・ 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への多くのデータ登録に対し、国立国会図書館長より御礼状を授与される
- 12月 ・ 「手話つきおはなしかい」初開催
- 28 (2016) 年 2月 ・ 今昔写真展「鎌倉を見つめた写真家たち—鈴木正一郎28年間の記録を中心に—安田三郎・皆吉邦雄の3人展」 (鎌倉生涯学習センター地下市民ギャラリー)
- 3月 ・ 利用者懇談会「バックヤードツアー&図書館で語ろう」

平成28年度のあゆみ

- 4月
 - ・こどもの読書週間展示（4月23日～5月12日）
 - ・本の修理講座修了者による本の修理ボランティア開始
 - ・鎌倉駅地下道ギャラリー50展示「小中学生のポップ大賞と鎌倉アカデミア」（4月26日～5月2日）
- 5月
 - ・国宝館スペシャル「禅の心とかたち - 総持寺の秘宝」（中央図書館）
 - ・新たな地域の写真を当館デジタルアーカイブで公開開始
- 6月
 - ・第8回「本の海サポーターズ交流会」（深沢学習センター）
 - ・第28回鎌倉学府「鎌倉幕府の外貿六浦湊とその周辺」（小林照夫氏発表・中央図書館）
 - ・特別整理休館 腰越・玉縄図書館（6月20日～26日）、深沢・大船図書館（6月27日～7月3日）、中央図書館（7月5日～13日）
 - ・図書館独自ネットワーク開設工事
- 7月
 - ・平成28年度第1回図書館協議会
 - ・鎌倉駅地下道ギャラリー展示「昭和の夏 鎌倉カーニバル」
 - ・市内小中学校教職員対象の図書館実務研修（全3日間）
 - ・「としょかんいんになってみよう（一日図書館員）」
 - ・「ぬいぐるみのおとまり会」（中央図書館）
- 8月
 - ・夏休みこども映画会
- 9月
 - ・暮らしのお役立ち講座「認知症サポートと消費者トラブルを防ぐ」（玉縄学習センター）
- 10月
 - ・ファンタスティック☆ライブラリー105（10月7日～11月5日）
- 11月
 - ・平成28年度第2回図書館協議会
 - ・紙芝居大会（腰越図書館）
 - ・協力事業 「親子で楽しむ「松谷みよ子」の世界」（中央図書館）
- 12月
 - ・暮らしのお役立ち講座 「消費生活トラブル～行政書士が解説～」（深沢学習センター）
 - ・中央、腰越、玉縄図書館に入館者カウンター設置

平成29年

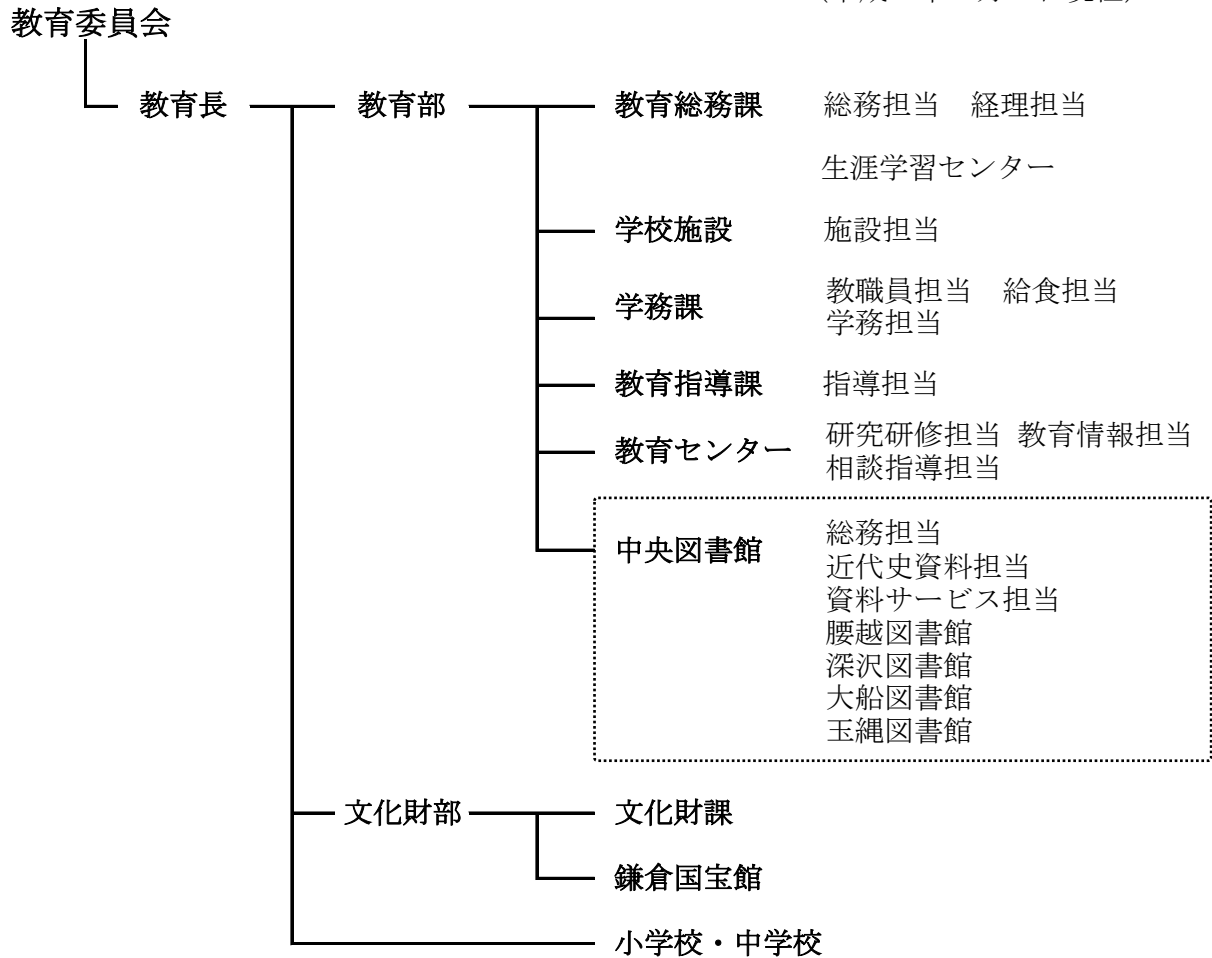
- 1月
 - ・川喜多映画記念館とのコラボ企画「杉原千畝と小辻節三」展示（1月4日～29日・中央図書館）
 - ・「杉原千畝 六千人の命のビザ」講演（1月28日・中央図書館）
- 2月
 - ・「鎌倉・賢治の会」展示（2月8日～26日・中央図書館）
 - ・3市合同！YA夏目漱石生誕150年（相模原市立橋本・立川市図書館との合同企画、2月腰越・玉縄図書館、3月深沢・大船図書館）
 - ・川喜多映画記念館とのコラボ企画川喜多アワー「日本人が見てきたヨーロッパ映画の系譜」（中央図書館）
 - ・平成28年度第3回図書館協議会
- 3月
 - ・横浜市立図書館との相互利用開始
 - ・サイエンスカフェ「鎌倉高校に聞く！たたら製鉄のなぞを追う」（腰越図書館）
 - ・平成28年度第4回図書館協議会
 - ・国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への多くのデータ登録に対し、国立国会図書館長より2年連続の御礼状を授与される

2. 機 構

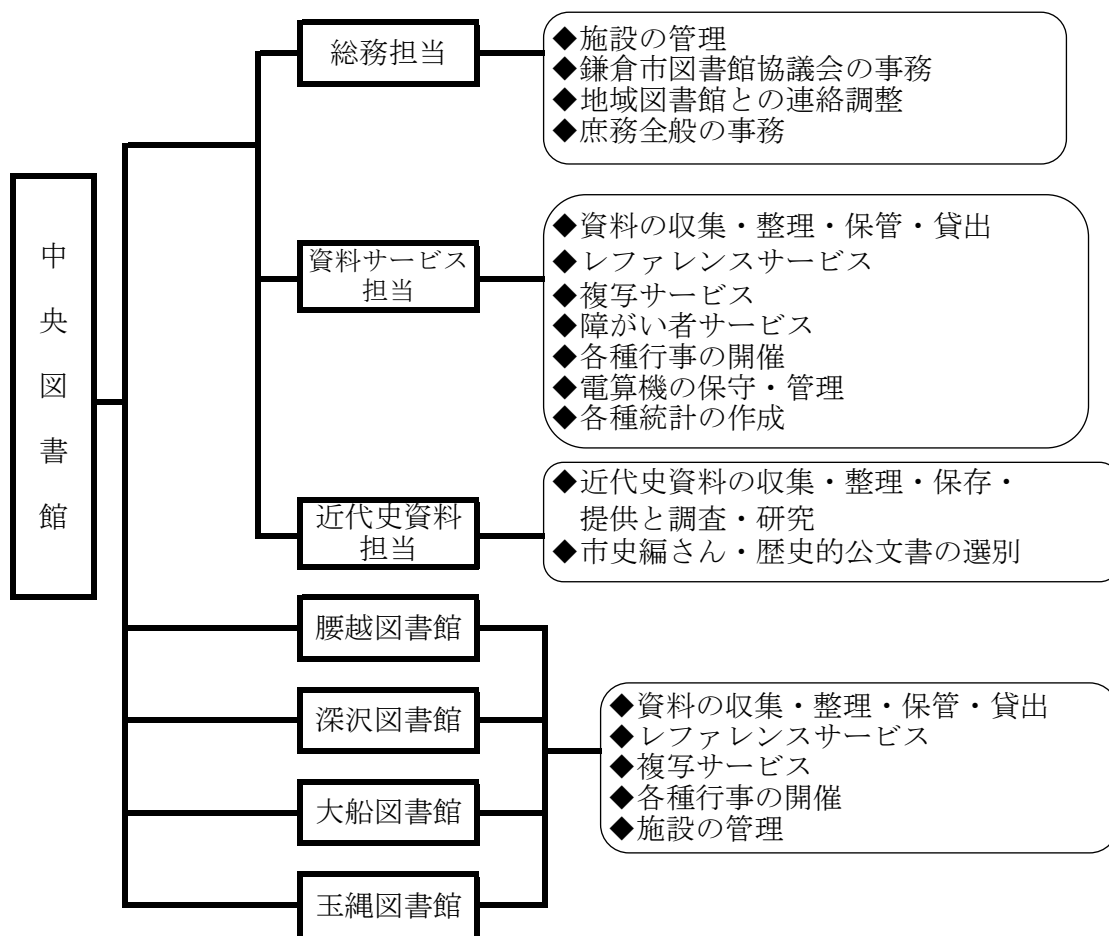
(1) 教育委員会機構図

図書館は、市長とは独立した執行機関である教育委員会教育部に属する機関です。

(平成29年4月1日現在)



(2) 図書館の組織・主な事務内容



(3) 図書館職員

(平成29年4月1日現在)

	職員	嘱託員	嘱託員備考
中央図書館長	1人		
総務担当	1人	2人	※総務課付
資料サービス担当	9人(1) + [再2]	13人	
近代史資料担当	1人(資料サービス担当と兼務)	4人	※うち近代史1人、総務課付2人 歴史的公文書1人
腰越図書館	3人	6人	
深沢図書館	4人(1)	6人	
大船図書館	3人	6人	
玉縄図書館	3人	5人	うち専門業務2人
計	24人 (2人) + [再2人]	42人	

* 資料サービス担当中、(1)は育児休業中の職員がうち1人、[再2]は再任用職員が2人(職員1人分の勤務)。深沢の(1)は育児休業中の職員がうち1人。近代史資料担当は資料サービス担当のうちの1人と兼務。嘱託員備考に記載のない嘱託員は図書館業務嘱託員。図書館専門業務嘱託員は司書有資格者。職員総数のうち司書有資格者20人、図書館業務嘱託員総数のうち司書または司書補有資格者は31人。

(4) 図書館内各種委員会

鎌倉市図書館では、各種サービスや運営方法を各種委員会で検討・実施しています。

① 館長会議

図書館運営に関わる決定機関です。各種会議の報告や各館の情報交換も行っています。市内5館の館長及び係長以上の職員で構成されています。

② 児童奉仕委員会

0歳からの子どもと、子どもを取り巻く大人へのサービス全般を担当しています。

- ・ おはなし会、おひざにだっこのおはなしかい、あかちゃんと楽しむおはなし会の定例行事を開催しています。
- ・ 小学生向けの「なつやすみにおすすめのほん」のリストを作成しています。
- ・ 年齢別におすすめする本のリストを作成・発行・配布しています。
- ・ 学校との連携を進めています。おはなし会、ブックトークなどの訪問サービスや教職員・PTAが主催する講座、研修会に講師を派遣する等、講座・講演会を実施しています。
- ・ 市の関連課と連携してブックスタート事業を実施しています。
- ・ 子どもへのサービスをより充実させるため、ボランティアを養成しています。

③ 資料管理委員会

図書・雑誌・新聞・AV等の資料の管理を行う委員会です。

- ・ 「鎌倉市図書館資料管理方針」（平成13年9月）および「鎌倉市図書館資料管理基準」（平成16年10月・22年4月一部改定）に基づき、資料の収集・保存・除籍等の基準の策定、見直し、管理を行います。
- ・ 資料の選定会議を行います。
- ・ 雑誌・新聞の新規購入・寄贈受入・中止について検討をします。

④ 運用委員会

よりよい図書館サービスのため、サービス提供の方法等を検討する委員会です。

- ・ 貸出・登録・予約等のサービスやカウンター業務がスムーズに行われるように運用方法を検討します。
- ・ 「図書館の自由」に関わる問題が起きたとき、対応を検討します。
- ・ 個人情報保護の側面から図書館業務を検討します。

⑤ PR委員会

より図書館に親んでもらうため、広報活動を行う委員会です。

- ・ 館報「かまくら図書館だより」や「テーマ別本のリスト」を編集・発行しています。
- ・ 図書館利用を促進するための配布物の作成、行事の企画・実施をしています。
- ・ ホームページ、ツイッターの企画・更新をしています。

⑥ YA委員会

ヤングアダルト（10代）層に図書館や本に親んでもらうための企画を立案・実施する委員会です。コーナーの整備やイベント企画をしています。

3. 図書館協議会

図書館協議会は、図書館の管理運営に関し図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館サービスについて館長に意見を述べる機関です。

図書館法の定めにより設置され、社会教育関係者、教育関係者、学識経験者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、市民公募による者の5名で構成されています。

開会日時	主な審議・報告事項等
第1回 7月28日(木) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉市図書館の運営について（審議） ・ 平成28年度図書館事業予算について（報告）
第2回 11月9日(水) 18:00～20:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉市図書館の運営にかかる答申について（審議） ・ 付帯意見について（審議） ・ 鎌倉市図書館の運営について（答申）に関する意見について（審議）
第3回 平成29年 2月13日(月) 10:00～11:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度休館日程について（報告） ・ 横浜市との図書館相互利用協定の締結について（報告） ・ 嘱託員業務及び開館時間検討作業部会の進捗状況について（報告）
第4回 3月23日(木) 15:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜市図書館との広域相互利用開始後の状況について（報告） ・ 鎌倉市図書館の事業における平成28年度の重点事項とその成果及び平成29年度の重点項目について（審議）

委員名簿（定数5名）

（敬称略）

任期	氏名	職業又は役職	選出区分
平成26年12月15日～ 平成27年3月31日	田中 康正	鎌倉女子大学教授	学識経験者
平成27年5月12日～ 平成28年12月14日	鍛冶 哲郎	鎌倉女子大学教授	学識経験者
平成26年12月15日～ 平成27年6月21日	杉本 晴子	作家	社会教育関係者
平成28年10月19日～ 平成28年12月14日	蛭田 道春	社会教育委員会議長	社会教育関係者
平成26年12月15日～ 平成27年6月21日	大嶋 一成	鎌倉市立第一小学校校長	学校教育関係者
平成27年6月22日～ 平成28年12月14日	越川 雅之	鎌倉市稲村ヶ崎小学校校長 鎌倉市玉縄中学校校長	学校教育関係者
平成26年12月15日～ 平成28年12月14日	杉山 恵子	鎌倉市図書館おはなしボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者
平成26年12月15日～ 平成28年7月27日	小林 美香	市民	市民公募
平成28年7月28日～ 平成28年12月14日	和田 安弘	市民	市民公募
平成28年12月16日 ～ 平成30年12月15日	鍛冶 哲郎	鎌倉女子大学教授	学識経験者
	高村 清美	鎌倉市立第二小学校	学校教育関係者
	梨本 加奈	鎌倉女子大学准教授	社会教育関係者
	杉山 恵子	鎌倉市図書館おはなしボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者
	中村 七海	市民	市民公募

4. 鎌倉市図書館一覧

	中央図書館	腰越図書館	深沢図書館	
所在地	御成町20-35	腰越864 (腰越行政センター内)	常盤111-3 (深沢行政センター内)	
☎ FAX	☎ 0467-25-2611 FAX 0467-24-6544	☎ 33-0711 FAX 設置なし	☎ 48-0022 FAX 43-5676	
開館年月	旧：1911(明治44)年 7月 新：1974(昭和49)年 10月	1999(平成11)年 3月	1980(昭和55)年 5月	
対象地域人口 (平成29年4月1日現在)	46,663人	24,278人	33,700人	
面 積	一般コーナー	575 m ²	240 m ²	380 m ²
	児童コーナー	143 m ²	130 m ²	126 m ²
	ブラウジング コーナー	56 m ²	35 m ²	42 m ²
	AVコーナー	58 m ²	30 m ²	—
	書庫	314 m ²	92 m ²	168 m ²
延床面積(その他含)	2,576 m ²	684 m ²	820 m ²	
閱 覧 席	一般	104席	16席	12席
	児童	18席	7席	6席
	その他	11席	29席	24席
	計	133席	52席	42席

※その他…ソファ、長イスなど

大船図書館 大船2-1-26 (大船行政センター内) ☎ 45-7710 FAX 設置なし	玉縄図書館 岡本2-16-3 (玉縄行政センター内) ☎ 44-2218 FAX 設置なし	計
1982(昭和57)年 10月	1987(昭和62)年 4月	
42,848人	24,863人	172,352人
190 m ² 135 m ² 40 m ² 8 m ² — 462 m ²	224 m ² 123 m ² 72 m ² — — 512 m ²	1,609 m ² 657 m ² 245 m ² 96 m ² 574 m ² 5,054 m ²
6席 12席 20席 38席	17席 12席 21席 50席	155席 55席 105席 315席

5. 平成28年度図書館費

(1) 予算・決算 (含む29年度予算)

単位：千円

		平成28年度 (当初予算)	平成28年度 (決算)	平成29年度 (当初予算)	
一般会計		60,785,600	60,452,065	59,850,016	
教育費		6,482,003	7,434,868	5,534,781	
社会教育費		1,806,238	1,966,259	1,740,380	
図書館費		136,359	130,055	135,222	
内 訳	報酬	49,747	49,737	50,966	
	賃金	298	297	298	
	報償費	10	10	10	
	旅費	3,362	2,204	3,500	
	需用費	37,572	36,537	36,401	
	内 訳	消耗品費	29,104	29,211	28,189
		燃料費	903	896	816
		印刷製本費	453	344	226
		光熱水費	5,711	4,634	5,711
		維持修繕料	1,220	1,325	1,220
		備品修繕料	108	108	108
		車輛修繕料	73	19	131
	役務費	3,366	3,465	3,648	
	内 訳	電信料	1,676	1,789	1,948
		運搬料	78	77	78
		手数料	1,540	1,540	1,540
		保険料	72	59	82
	委託料	15,618	13,221	16,136	
使用料及び借料	25,142	22,306	22,719		
負担金補助及び交付金	86	86	386		
積立基金 (図書館振興基金)	1,158	2,192	1,158		

予算の主な内訳

- 一般会計： 鎌倉市全体の予算
 - 報酬： 図書館協議会委員・各館の図書館業務嘱託員への報酬など
 - 報償費： 図書館行政協力者への謝礼など
 - 需用費： 予算一覧表内訳のとおり
 - 消耗品費： この中に図書館資料（本・雑誌・新聞・AV資料）や、文具類の購入費が含まれます
 - 印刷製本費： 写真資料の複写・バーコードラベルの印刷費など
 - 役務費： 予算一覧表内訳のとおり
 - 手数料： 図書館建物の維持管理のための経費。各種機器の保守点検など
 - 使用料及び賃借料： 主に図書館の全コンピューターシステム稼働の費用
 - 負担金補助及び交付金： 日本図書館協会や神奈川県図書館協会の分担金など
 - 積立金： 鎌倉市図書館振興基金への積立金など（寄附金額）
- ※ 図書館費には、一般職員の給料、職員手当などは含まれていません

(2) 資料購入費

図書館の予算のうち、資料購入費は次のとおりです。

図書資料には、図書のほか雑誌、新聞の購入費・データベース使用料等を含みます。

単位：円

		平成28年度		平成29年度
		当初予算	決算	当初予算
中央図書館	図書資料費	19,695,108	19,899,710	18,438,200
	AV資料費	100,000	33,914	100,000
	計	19,795,108	19,933,624	18,538,200
腰越図書館	図書資料費	1,674,580	1,657,169	1,632,845
深沢図書館	図書資料費	2,021,080	2,107,062	2,022,648
	(うち学校貸出)	(350,000)	(421,538)	(350,000)
大船図書館	図書資料費	1,738,172	1,734,787	1,790,205
玉縄図書館	図書資料費	1,657,748	1,482,067	1,560,842
全館計	図書資料費	26,786,688	26,880,795	25,444,740
	AV資料費	100,000	33,914	100,000
	計	26,886,688	26,914,709	25,544,740

※ 平成27年度から、新聞、雑誌、学校貸出等一部を除き、中央図書館での集中執行としました。

6. 平成28年度の主な事業実施報告

新規事業

(1) 広域利用の検討

- * サービス計画…方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点－1 図書館ネットワークの構築
- 具体的な事業
従来の三浦ブロック、藤沢市との広域利用に加え、横浜市との相互利用を3月1日より開始しました。
これによって、隣接する全ての自治体との相互利用が実現し、市民がより多様な資料を利用できるようになりました。

(2) 地域状況に沿った利用しやすい開館日、開館時間の検討

- * サービス計画…方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点－1 図書館ネットワークの構築
- 具体的な事業
 - ・地域別時間帯別の入館者数の調査（入館者カウンター設置）と検討を行いました。
 - ・図書館協議会答申、利用状況を考慮し、29年度以降の開館日の変更、開館時間試行のため協議を進めました。

(3) 鎌倉らしいコンテンツの制作と発信

- * サービス計画…方針Ⅱ 鎌倉ならではの図書館－2 図書館からの情報発信
- 具体的な事業
 - ・鈴木正一郎写真資料等をデジタル化し、274（合計683）点を図書館ホームページより公開しました。

(4) 情報通信技術の活用

- * サービス計画および子ども読書活動推進計画…
方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点－1 図書館ネットワークの構築
- 具体的な事業
 - ・個人情報保護のため、図書館システムネットワークのセキュリティを強化しました。
 - ・7月に図書館システムのネットワークを分離し、主体的なネットワーク管理を開始しました。
 - ・日常的に確認ができるようになり、障害対応やメンテナンスもスムーズに行えるようになりました。

(5) 子どもの読書環境の推進

＊ サービス計画…方針 I 図書館は生涯学習の拠点

ー 2 利用者に応じた読書の支援ー (1) 子どもの読書環境の推進

● 具体的な事業

- ・ 第3次子ども読書活動推進計画の策定準備を進めました。
- ・ 学校貸出の増加に伴い、学校搬送の業務委託を開始し、その対応に努めました。
- ・ 鎌倉市子ども読書活動推進連絡会では、市民委員を含めた計画策定のための連絡会議を持ち平成29年度の策定に向け、計画を検討しました。

継続事業

(1) 図書館利用に障害のある方に対する支援の充実

＊ サービス計画…方針 I 図書館は生涯学習の拠点

ー 2 利用者に応じた読書の支援ー (4) 図書館利用に障害のある方に対する支援

● 具体的な事業

- ・ 中央図書館前公道より敷地内への段差を解消し、車椅子の通行が安全になりました。
- ・ 認知症理解啓発研修、手話研修等の職場研修を実施しました。
- ・ 対面朗読の試行を始めました。

7. 平成29年度の重点事業

(1) だれにでもわかりやすい図書館ホームページにします

図書館システムのバージョンアップにより、利用者の利便性の向上に努めます。
絞り込み検索機能が向上します。

Webアクセシビリティに留意したホームページ構成となります。

※ 鎌倉市図書館サービス計画（平成26年～30年）の「Ⅰ図書館は生涯学習の拠点
－1 図書館ネットワークの構築」に基づく事業です。

(2) 開館時間の試行をし、地域状況にあった利用しやすい図書館をめざします。

大船図書館・玉縄図書館の開館時間の変更を試行します。

特別整理休館を見直し、期間を短縮します。

※ 鎌倉市図書館サービス計画（平成26年～30年）の「Ⅰ図書館は生涯学習の拠点
－1 図書館ネットワークの構築」に基づく事業です。

(3) 団体と一緒に身近な図書館づくりのための発信をしていきます。

市民提案事業の一環として、新たな市民団体とも連携協力し、交流の場を提供するとともに、生涯学習の成果を市民財産である図書館資料として保存活用を行います。

※ 鎌倉市図書館サービス計画（平成26年～30年）の「Ⅲ市民とともに創る図書館
－1 市民参画と協働」に基づく事業です。

(4) 鎌倉らしいコンテンツの制作と発信をしていきます。

近代史資料室で所蔵している貴重な写真資料の活用をすすめるため、著作権の許諾がとれている鈴木正一郎氏撮影の写真を、デジタル化しホームページ上で公開します。

平成29年度に鎌倉駅地下道ギャラリーで展示する予定の作品もふくめ100点のデジタル化を予定しています。

※ 鎌倉市図書館サービス計画（26年～30年）の「Ⅱ鎌倉ならではの図書館－2
図書館からの情報発信」に基づく事業です。

(5) 子どもたちと図書館をむすぶ環境づくりをすすめます。

第3次子ども読書活動推進計画を策定します。

市民委員を含めた委員による鎌倉市子ども読書活動推進計画策定連絡会議を開催し、計画を策定します。

※ 鎌倉市図書館サービス計画（平成26年～30年）の「Ⅰ図書館は生涯学習の拠点
－2 利用者に応じた読書の支援－（1）子どもの読書環境の推進」に基づく事業
です。